

編集発行
和歌山県北山村議会
TEL 0735-49-2331
FAX 0735-49-2207



北山村 議会だより



村民運動会での玉入の様子（10月20日）

令和6年9月定例会が開催されました

令和6年度補正予算等を審議／可決

P 2

議員が村政を問う！ 一般質問

P 3～P 5

議会日誌

議員のひとりごと

新議員紹介

P 6

令和6年9月定例会 ～令和6年度補正予算

条例改正等を審議・可決、一般質問等を行いました。～

本定例会は、9月17日、19日（会期4日）に開催されました。

1日目の17日は、会議前に8月14日に亡くなりました久保隆俊議員のご冥福をお祈りし黙とうを捧げた後、諸般の報告として、泉村長から行政報告並びに提案理由の説明が行われ、人権擁護委員の推薦、財政健全化比率及び資金不足比率の報告、条例制定等の審議、令和6年度一般会計補正予算、教育長の選任、教育委員会委員の選任などの議案が審議されました。

2日目の18日は休会で、3日目の19日は一般質問が行われ、久保學議員、山口廣一郎議員、阪上博行議員がそれぞれ質問を行いました。

●議決された条例・予算等の議案は以下のとおりです。

諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度北山村一般会計補正予算（第3号））
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度北山村一般会計補正予算（第4号））
報告第2号	健全化判断比率及び資金不足比率も報告について
議案第20号	北山村に副村長を置かない条例を廃止する条例について
議案第21号	北山村副村長定数条例の制定について
議案第22号	北山村犯罪被害者等の権利及び支援に関する条例の制定について
議案第23号	北山村国民健康保険条例の一部を改正する条例について
議案第24号	令和6年度北山村一般会計補正予算（第5号）
議案第25号	令和6年度北山村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
議案第26号	令和6年度北山村介護保険特別会計補正予算（第1号）
議案第27号	令和6年度北山村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
議案第28号	令和6年度北山村国民健康保険直営診療所特別会計補正予算（第2号）
議案第29号	令和6年度北山村簡易水道事業会計補正予算（第1号）
同意案第1号	北山村教育長の選任について
同意案第2号	北山村教育委員会委員の選任について
同意案第3号	北山村教育委員会委員の選任について



所 久保 山本
和宏 直也 祐子
氏 氏 氏

新
教
育
委
員

松本 広明 氏

新
教
育
長

教育長・教育委員会委員が新たに選任されましたのでご紹介します。

一般質問

和歌山県唯一の村の存続について！

久保 學



【質問】和歌山県で唯一の村の存続について質問したいと思えます。

7月に北山村で開催された紀伊半島知事会議でも各市町村の取組状況などが発表された。人口を増やすために全国色々な手法で取り合い合戦をしているのが現状だと思えます。平成の合併時に北山村は単独の道を選び、現在和歌山県で唯一の村となっております。いろいろ問題もありましたが、現時点ではいい選択だったと思えます。

今後、村単独で残るには色々な課題があると思えます。企業などの本社は東京一極集中で、東京都は税金も多く、安定した行政運営が出来てい

ます。

そこで、北山村が人口2000名程になっても存続出来る方法を想像したら、高額納税者が数名いれば収入が確保されると想定され、数年間住民票を置いて頂く納税者の募集等を行ったかどうかと思えます。

北山村に県の施設や自衛隊の訓練場所、何かの研究機関等の誘致もあり得るかも知れません。

また、広島県のある市では、ユーチューブを利用して年間2000万円の収入があったとの報道がありました。

常識から外れた考えかも知れませんが、何事も挑戦してみないと前に進まないと思えます。

そこで、村長としての方策等をお伺いしたいと思えます。

【答弁】全国的に人口が減少して東京の一人勝ちが強まる中で、各地方では地域の存続をかけて色々な取組が行われているが、これといった特効薬もなく苦戦しているのが現状だと思つてい

ます。

北山村でも平成27年から令和22年までの25年間に期間として、北山村人口ビジョンを策定しています。また、令和3年から令和7年までの5年間に期間として長期総合計画を策定して様々な施策を講じていますが、なかなか人口減少に歯止めがかからないのが現状です。

久保議員からは、村の人口が2000人になっても存続出来る方法、県の研究施設等の誘致のお話も頂きましたが、なかなか一朝一夕に実現できるものではないと考えています。しかしながら、このまま手をこまねいていくわけにもいかないことから、現在、中堅職員からなるプロジェクトチームを立ち上げ、人口がどのように推移して年齢構成がどうなるのか、村の財政はどう推移するのか、村を維持、存続させるためにはどのようなことが必要か等の総合的な将来シミュレーションを始めたところで、この検討につきましては、県庁内にも総務部及び地域振興部の職員で構成するチームを立ち上げて頂き、一緒に村の将来について考えて頂く事にしています。なお、この将来シミュレーションについては今年度中に検証結果を整理し、来年度に村の

基本計画である北山村長期総合計画を改定し、令和8年度から実行に移していきたいと考えているところです。

また、今議会でも北山村に副村長を置かない条例を廃止する条例にご賛同いただいたことで、県に対して経験豊富で有能な人材の派遣をお願いして長期総合計画改定作業の陣頭指揮や、県有施設の誘致等の可能性も探ってもらいたいと考えております。

県内唯一の村を守り、存続するために県を巻き込んで、これまでの枠に捕らわれないこと、様々な方向から挑戦していきたいと考えております。

議員の皆様とは、村の10年後、20年後を想像して、将来を見据えた活発な議論が出来ればというふうな思っていますので、宜しくお願いいたします。

(泉村長)

今、村長の考えを聞きましたので、大体分かりました。近隣市町村でも合併したことを後悔している住民が沢山いるのが現状です。その中で、村長も言われたように1日でも長く村が存続できる事を皆で考えて頑張っていかなければならないと思つています。

これで私の質問を終わらせて頂きます。

一般質問

○奥漣道路（Ⅲ期）の早期開通推進の陳情強化の必要性！

○人口問題についての考えと村営住宅建設のその後？

山口 廣一郎



【質問】奥漣道路が開通することにより北山村の未来が見えてきます。観光等の交流人口や移住定住人口の増加が期待され、南海トラフ地震等の災害発生時の救援、支援や災害復旧、救急医療において1分1秒を争うとき、奥漣道路は、村民の「命の道路」となります。早期開通に向けて今以上の陳情強化が必要だと思いますが、村長の考えをお伺いします。

【答弁】ご指摘のとおり奥漣道路は、地震等の災害発生時、また緊急医療が必要な時において、まさに「命の道」であり、今後の北山村の地域振興にとって欠かすこと

のできない道であることは言うまでもありません。

早期完成に向けた要望、陳情ですが、北山村が会長及び事務局を担当して周辺8市町村で構成する「国道169号奥漣道路Ⅲ期事業促進協議会」において、例年春と秋の2回の要望活動を行っています。本年度についても、春の要望活動は5月31日から6月19日の間で国土交通省、財務省、近畿地方整備局、紀南河川国道事務所、和歌山県、三重県、地元選出の国会議員や関係職員に対して要望を行っています。秋の要望についても現在、日程調整を行っており、要望先は春と同様を予定しています。今後とも奥漣道路Ⅲ期の早期完成に向けて、時期を逸することなく要望、陳情活動を行ってまいります。（泉村長）

【質問】人口問題に対する考えと村営住宅建設のその後はという事で泉村長に伺います。村長は、就任記者会見で重点

施策を述べていましたが、人口問題対策等についてはあまり語っていなかったと思います。これは、避けては通れない問題だと思いますので考えをお伺いします。また、竹原住宅の建設、下尾井地区の手つかずに残っている土地利用も含め、その後、どうなっているのか村長にお伺いします。

【答弁】就任会見で人口問題に触れておらず、避けては通れない問題なので新村長としての考えはどうかという質問ですが、多くの人が集い交流が生まれることで、地域の魅力が増すことは間違いないと思っており、これまでの枠に捕らわれず様々な方向から検討し、移住定住につなげたいというのが私の考えです。北山村の存続のためには、当然人口問題は最重要課題だと思っています。

しかし、移住定住を考えるとき、単に住宅を建設して、誰でもいいから北山村に移住して下さいという問題でもなく、仕事の確保や何より今ある地域のコミュニティに悪影響を及ぼさないか等様々な検討が必要なことから、あえて会見では移住定住に取組みますとは言わなかったことをご理解いただきたいと思います。そんな中で、移住定住を検討する

にあたっては、空き家はあるのか、新築するのか、住宅整備に幾ら必要か、紹介できる仕事はあるのか等あらゆる方向から総合的に検討し、その上で、ワンストップで対応できる体制を構築する必要があると思っています。人口減少、財政を基本としたシュミレーションを始めておりその結果をもとに計画的な移住定住策を考えていきたいと思っています。竹原への住宅新築、下尾井地区の土地活用ですが、今ここで答えるのではなく、シュミレーションの結果を基に、この村の維持、存続のために何が一番いいのか、利用されていけない土地が他にもあるのか等一度、現状を把握した上で総合的に対策を練って考えていきたいと思っています。（泉村長）

これから先、未利用地等をどのように活用していくかということとは、私たち議員と執行部も含めて考えていく必要があると思います。以上、質問を終わります。

一般質問

陳情・要望・提案になるまでのプロセスについて？

阪上 博行



【質問】今回、陳情について質問したいと思っております。少子高齢化の真つただ中にいる北山村では、これから外から住民がどんどん来てもらわないといけない状況で、そうなると観光問題、人口問題、住宅問題が増えてくると思われ、色々な意見や要望が多くなってきました。もちろん少数意見も大切ですが、個人的な要望も出てくるかも知れないので慎重に審議しなければなりません。また、思い付きだけの要望は村を混乱させるだけです。特に多額の費用を要する事業の陳情の場合には村の負担も大きくなるため慎重に検討する必要があります。区長会にも諮る必要があ

ると思っております。ふるさと納税が減少傾向にある中で、村の予算事業に対する村民の意識を高めることが重要だと思いい、次の点を提案したいと思います。

①陳情のハードルを上げる
少し表現が悪いのですが、本当に必要な事業のみをリストアップし、無駄な支出を抑え、財政を健全に保ち、予算を使うことです。

②予算事業の透明化
予算事業の状況を村民に分かりやすく説明し、事業に係る費用やその影響を理解してもらおうことにより、予算に対する意識、無駄な支出を抑える意識が高まるでしょう。

③村民参加の促進
事業の計画段階から村民の意見を取り入れ意思決定を行う。これにより村民の信頼を得るとともに、より効果的な事業運営が可能となります。

ここで村長に、陳情、要望等のプロセスについてお聞きしたいと思いますので、宜しくお願ひします

【答弁】村の事業については、大きく2通りに分かれると思っております。1つは村の施策の基本となる長期総合計画や過疎計画等に基づいて実施するものと、もう1つは、村内の各区からの陳情、要望等を受けて行っていくものです。1つ目の長期総合計画や過疎計画の策定に当たっては、事業実施の際に国や県から補助が受けられるのか、起債の対象になるのか等、計画の内容についても県との間で確認、協議したうえで村民の代表であります議会の承認を得て策定しているのが現状です。

た、国道の補修や改良、砂防事業、急傾斜事業、治山事業等の県事業で実施可能なものについては、村から県に対し要望を行っております。このようなプロセスで現状行っております。
(泉村長)

【質問】内容は、大体理解できました。多額の事業費が関わるものの陳情に関して、区長会の中で話し合うことはあるのでしょうか。
(泉村長)

【答弁】私が把握しているところでは、区長会の区長同士での話とじゃないかと思っております。
(泉村長)

【質問】私は、村は役場と村民が一体となつてつくり上げていくものだと思っておりますが、村長はどうお考えでしょうか。
(泉村長)

【答弁】私の行政運営に関しましては、トップダウン方式ではなく、村民の皆様、議会の皆様のご協力と役場職員のお知恵、経験を頂きながら行っていきたいと思っております。
(泉村長)

分かりました。
以上で私の質問は終わります。

議会日誌

8月(葉月・はつき)

- 6日 和歌山県町村議会議長会 全議員研修会 (上富田町)
- 26日 新宮周辺広域市町村圏事務組合等定例会 (新宮市)

9月(長月・ながつき)

- 11日 議会運営委員会・全員協議会 (村民会館)
- 17日～19日 9月定例会 (役場)
- 25日 広報研修 (東京都)
- 26日～27日 総務建設常任委員会視察 (長岡市)
- 29日 北山村議会議員補欠選挙投票開票日

10月(神無月・かんづき)

- 11日 新議員研修会 (和歌山市)
- 17日 第1回北山村議会臨時会 (役場)
- 21日 総務建設常任委員会 (役場)
- 21日 東牟婁郡町村議会 全議員研 (那智勝浦町)
- 24日 和歌山県町村議会議長会正副委員長研修会 (和歌山市)

11月(霜月・しもつき)

- 6日 北山三村議員交流会 (下北山村)
- 12日～14日 第68回議長全国大会 (東京都)
- 15日 総務建設常任委員会 (村民会館)

12月の予定

- 11日 議会運営委員会・全員協議会 (村民会館)
- 17日～19日 12月定例会 (役場)

議員のひまわり

私の趣味は釣りで、始めてから40年程になります。いよいよ11月からフカセ釣りの時期となります。この釣りは、11月から3月頃までが主流で、魚の中でも50センチ以上のグシを釣り上げることが目標にしています。最近では、異常気象等の環境変化で海も海藻が育たなくなったり、沖縄地方の魚が釣れたりと変化が見られます。それでも、釣りに行くのを毎回楽しみにしています。趣味で野菜を育てて、サル・鹿等の動物と闘っている方も多いと思います。皆様も、何でもいいので一つ趣味を持ちましょう。

北山村議会副議長 久保 學

新議員紹介

9月29日に執行された北山村議会議員補欠選挙で、中岸さやかさんが当選され、北山村議会初の女性議員が誕生しました。

中岸さんは、東京都出身の神奈川県育ちで、北山に移住して8年目になるそうです。

また、10月17日に開かれた臨時議会では、「先日参加した新議員研修で教えて頂いた議員に求められる資質(地域の歴史・文化・課題を十分に把握する「地域への深い理解」、住民の声を聴きそれを政策に反映する「コミュニケーション力」、公職者としての高い倫理観と責任感を持つ「倫理観と責任感」)をまず段階的に実践で身につけながら、「自然と人が調和するじゃばらと筏の里・北山」の実現を皆さんと一緒に取り組んでいく所存です」と挨拶されました。

